

柏 市 環 境 保 全 条 例

特定施設届出書関係 記入例 (ばい煙に係る特定施設)

柏市環境部環境政策課

目 次

1 特定施設設置（使用）届出書

【記入項目】

- 1-1 様式第 1 号 特定施設設置（使用）届出書 … P1-1
- 1-2 様式第 1 号 別紙1 ばい煙に係る特定施設の概要 … P1-2,1-3

【記入例】

- ・様式等の記入例
 - 1-1 様式第 1 号 特定施設設置（使用）届出書 … P1-4
 - 1-2 工場等の敷地の周囲 1 0 0 メートルの見取図の例 … P1-5
 - 1-3 組織図の例 … P1-6
 - 1-4 様式第 1 号 別紙1 ばい煙に係る特定施設の概要 … P1-7
- ・ばい煙に係る特定施設の図面の例
 - 1-5 特定施設, ばい煙の処理施設及び建築物の配置図 … P1-8
 - 1-6 特定施設を含む操業の系統及びばい煙の処理の系統の概要の説明書 … P1-9
 - 1-7 ばい煙の量に関する説明書(ばい煙計算書・燃料の成分表の例) … P1-10～1-13
 - 1-8 特定施設及びばい煙の処理施設の構造の概要図（仕様・図面等の例） … P1-14,1-15

2 特定施設構造等変更届出書

【記入項目】

- 2-1 様式第 2 号 特定施設構造等変更届出書 … P2-1
- 2-2 様式第 1 号 別紙 1 ばい煙に係る特定施設の概要（構造等変更） … P2-2,2-3

【記入例】

- ・様式等の記入例
 - 2-1 様式第 2 号 特定施設構造等変更届出書 … P2-4
 - 2-2 工場等の敷地の周囲 1 0 0 メートルの見取図の例 … P2-5
 - 2-3 様式第 1 号 別紙 1 ばい煙に係る特定施設の概要（構造等変更） … P2-6
- ・ばい煙に係る特定施設の図面の例
 - 2-4 特定施設, ばい煙の処理施設及び建築物の配置図 … P2-7
 - 2-5 特定施設を含む操業の系統及びばい煙の処理の系統の概要の説明書 … P2-8
 - 2-6 ばい煙の量に関する説明書(ばい煙計算書・燃料の成分表の例) … P2-9～2-12
 - 2-7 特定施設及びばい煙の処理施設の構造の概要図（仕様・図面等の例） … P2-13,2-14

3 氏名等変更届出書・特定施設等使用廃止届出書・承継届出書

【記入項目】

3-1 様式第3号 氏名等変更届出書 … P3-1

4-1 様式第4号 特定施設等使用廃止届出書 … P3-1

5-1 様式第5号 承継届出書 … P3-2

【記入例】

・様式等の記入例

3-1 様式第3号 氏名等変更届出書 … P3-3

4-1 様式第4号 特定施設等使用廃止届出書 … P3-4

5-1 様式第5号 承継届出書 … P3-5

・関係資料

柏市環境保全条例施行規則（ばい煙等に係る特定施設及び規制基準） … P4-1, P4-2

様式第 1 号 特定施設設置（使用）届出書

1-1 様式第1号 特定施設設置（使用）届出書 記入項目

項 目		内 容	備 考
①	届出者	届出者の住所（郵便番号・所在地），氏名（名称及び代表者の氏名）を記入すること	
②	届出の取扱者	届出の取扱者の職，氏名及び電話番号を記入すること	
③	届出に係る特定施設の区分	該当する届出に係る特定施設の区分を記入すること	
④	工場等の名称	工場等の名称を記入すること	
⑤	工場等の所在地	工場等の所在地及び郵便番号を記入すること	
⑥	特定施設の種類	ばい煙に係る特定施設の内，ボイラーを設置する場合は別紙1-1を，廃棄物焼却炉を設置する場合は別紙1-2を別葉で作成すること	
⑦	特定施設の構造	ばい煙に係る特定施設の内，ボイラーを設置する場合は別紙1-1を，廃棄物焼却炉を設置する場合は別紙1-2を別葉で作成すること	
⑧	特定施設の使用の方法	ばい煙に係る特定施設の内，ボイラーを設置する場合は別紙1-1を，廃棄物焼却炉を設置する場合は別紙1-2を別葉で作成すること	
⑨	公害の防止又は処理の方法	ばい煙に係る特定施設の内，ボイラーを設置する場合は別紙1-1を，廃棄物焼却炉を設置する場合は別紙1-2を別葉で作成すること	
⑩	業種及び主な生産品目	法人等における業種及び主な生産品目を記入すること	
⑪	資本金若しくは出資金又は資金の総額	法人等における資本金若しくは出資金又は資金の総額を記入すること	
⑫	公害を防止するための組織及び担当者の職氏名	法人等における公害を防止するための組織及び担当者の職氏名を記入すること	
⑬	常時勤務する従業員の数	工場等に常時勤務する従業員の数を記入すること	
⑭	工場等の敷地面積	工場等の敷地面積（㎡）を記入すること	
⑮	工場等の建築面積	工場等の建築面積（㎡）を記入すること	
⑯	工場等の所在地の用途地域	工場等の所在地における都市計画法の用途地域を記入すること	
⑰	通常の始業及び終業の時刻	通常の始業及び終業の時刻を記入すること	
⑱	工場等の敷地の周囲100メートルの見取図	都市計画図等を使用し工場等の敷地の周囲100メートルの見取図を作成すること	（添付書類） 様式とは別葉とすること
⑲	特定施設を設置する者が法人である場合にあっては，その法人の組織図	法人等の組織図を作成すること	（添付書類） 様式とは別葉とすること

1-2 様式第1号 別紙1 ばい煙に係る特定施設の概要 記入項目

項 目		内 容	備 考
①	種類	柏市環境保全条例施行規則別表1のばい煙に係る特定施設の表に掲げる番号及び施設名を記入すること	
②	型式	特定施設の製造会社及び型式を記入すること	
③	着工予定・設置 年月日	特定施設設置（新設）の届出にあたっては着工予定年月日を、特定施設使用（既設）の届出にあたっては設置年月日を記入すること。また、特定施設使用（既設）の届出にあたっては、使用開始予定年月日の記入は不要	
④	使用開始予定 年月日		
⑤	規模	特定施設の燃料又は原料の種類及び使用量と伝熱面積若しくは火格子面積等の面積を記入すること	
⑥	使用の方法（1日の使用時間・季節変動の有無）	特定施設の1日の使用時間及び年間の季節変動の有無について記入すること	
⑦	排気型式	排気の装置の型式（自然、押込、誘引）に○をつけること	
⑨	処理施設の種類	処理施設の種類について記入すること	
⑩	処理施設の型式	処理施設の製造会社及び型式を記入すること	
⑪	発生の予測されるばい煙の量	発生の予測されるばい煙（ばいじん、硫黄酸化物、窒素酸化物及び塩化水素等）の量について、処理前と処理後の濃度を記入すること	ばい煙の量(濃度)の例 ボイラー（ばいじん、硫黄酸化物、窒素酸化物） 廃棄物焼却炉（ばいじん、硫黄酸化物、窒素酸化物及び塩化水素、ダイオキシン類等）
⑫	排ガス量(m ³ /h)	特定施設から排出される排ガス量（湿り及び乾き）を記入すること	
⑬	排出ガス温度（℃）	特定施設から排出される排ガスの排ガス温度を記入すること	
⑭	排出速度(m/s)	特定施設から排出される排ガスの排出速度を記入すること	
⑮	排出口の高さ及び直径等(m)	排出口の地上面からの高さと排出口の内径を記入すること	
⑯	排出口から敷地境界線までの水平最短距離（m）	排出口から敷地境界線までの水平最短距離を記入すること	
⑰	特定施設、ばい煙処理施設及び建築物の配置図	・ 建築図面等を利用して特定施設、ばい煙処理施設を配置した図面を作成すること ・ 特定施設の設置場所が屋上等複数階ある場合は、その階ごとに配置図と建物の立面図等を作成すること ・ 配置図には特定施設から他の民地等の敷地境界線までの距離（m）を記入すること	（添付書類） 様式とは別葉とすること

項 目		内 容	備 考
⑱	特定施設を含む操業の系統及びばい煙の処理系統の概要の説明書	・事業所内における特定施設を含む操業の系統及びばい煙の処理系統の概要の説明書を作成すること	(添付書類) 様式とは別葉とすること
⑲	ばい煙の量に関する説明書	・排出口から排出されるばい煙量について、ばい煙の量や濃度、排ガス量等を算出したばい煙の計算書等を作成すること ・ばい煙の量及び濃度に影響する使用原材料や燃料の成分表等を添付すること ・排出口において排出基準のある物質については、排出基準と照らし合わせて排出基準を超過しているか確認すること ・排出基準を超過するようであれば、排出基準を遵守するよう処理施設の設置を検討すること ・計算に使用した計算式等は根拠等を提示すること	(添付書類) 様式とは別葉とすること
⑳	特定施設及びばい煙の処理施設施設の構造の概要図	・特定施設及びばい煙の処理施設施設の構造の概要図を提示すること ・特定施設及びばい煙の処理施設施設は型式や公称能力等の概要が示されているものを提示すること ・概要図に関しては製造メーカーの仕様書等がこれらを満足している場合は概要図に変えて添付しても可	(添付書類) 様式とは別葉とすること

様式第1号（規則第6条，第16条の6，第18条，第27条，第48条関係）

特定施設設置（使用）届出書

柏市長

あて

●●年●●月●●日

① 届出者 住所（所在地）（郵便番号 ***-****）

●●県●●市●●町 ●丁目●番●号

氏名（名称及び代表者の氏名）

●●株式会社

代表取締役 ●● ●●

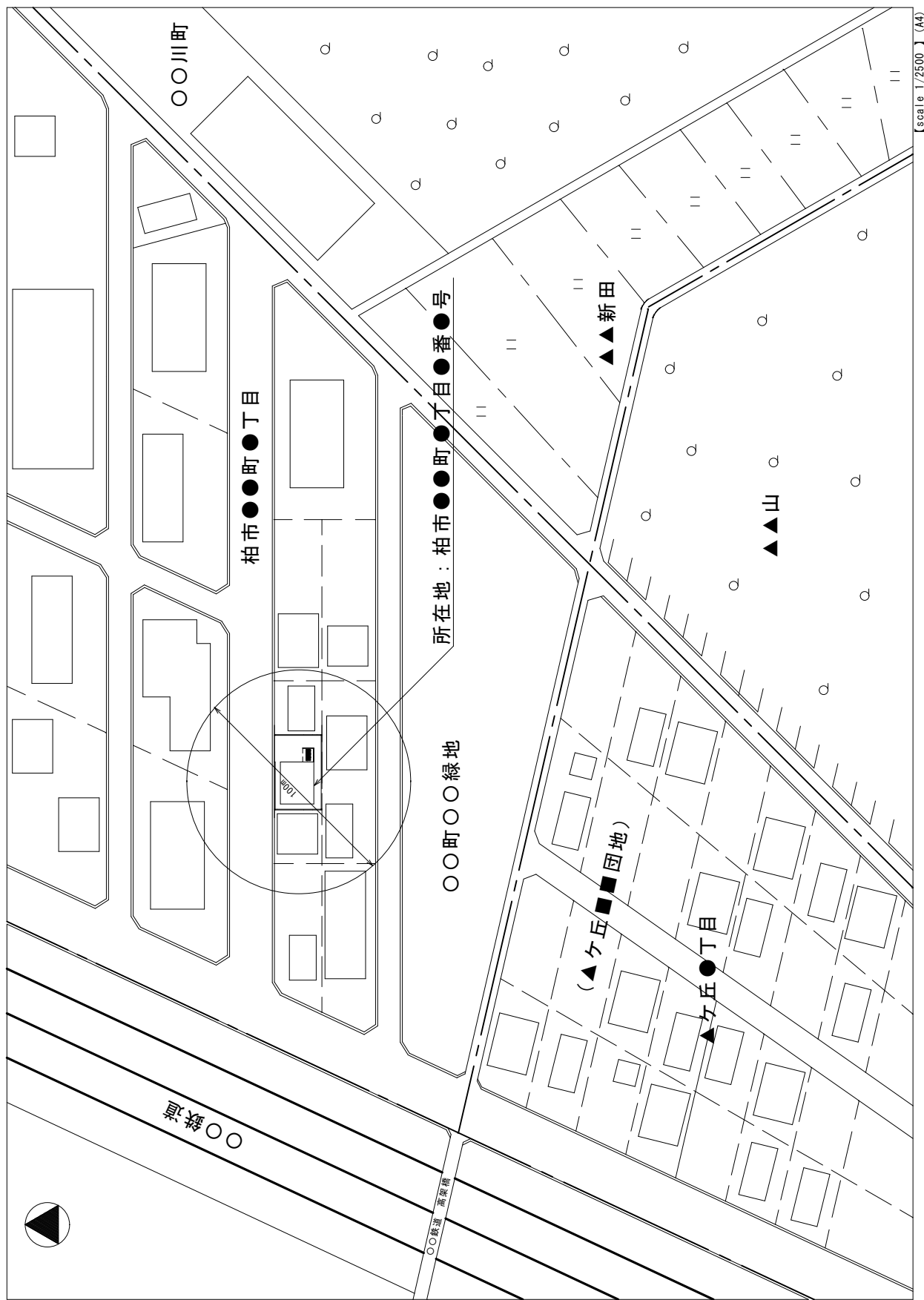
② この届出 職名及び氏名（電話番号***-****-****）
の取扱者

生産管理課 ●● ●●

柏市環境保全条例第25条第1項・第27条第1項・第36条の4第1項・第36条の5第1項・第38条第1項・第46条第1項・48条第1項・第68条第1項・第70条第1項の規定により，次のとおり届け出ます。

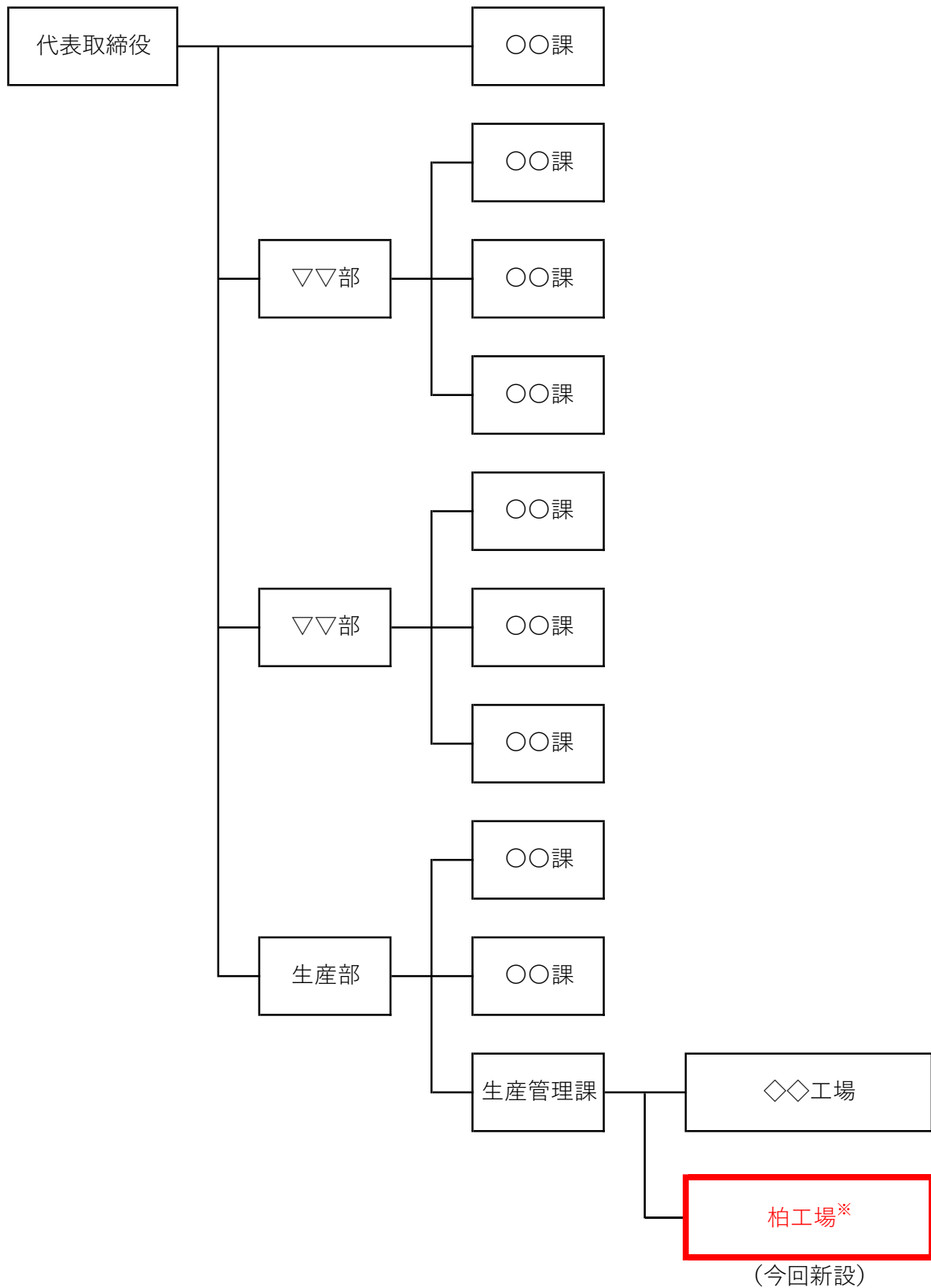
③届出に係る特定施設の区分	1-1 ばい煙	1-2 焼却炉	2 粉じん	3 水質
	4 地質の保全	5 騒音	6 振動	7 悪臭
④工場等の名称	●●株式会社 柏工場			
⑤工場等の所在地	(郵便番号***-****) 柏市●●町●丁目●番●号			
⑥△ 特定施設の種類の区分	別紙のとおり	⑫公害を防止するための組織及び担当者の職氏名	生産管理課 ●● ●●	
⑦△ 特定施設の構造	別紙のとおり	⑬常時勤務する従業員の数	****人	
⑧△ 特定施設の使用の方法	別紙のとおり	⑭工場等の敷地面積	*****m ²	
⑨△ 公害の防止又は処理の方法	別紙のとおり	⑮工場等の建築面積	*****m ²	
⑩業種及び主な生産品目	●●の製造	⑯工場等の所在地の用途地域	準工業地域	
⑪資本金若しくは出資金又は資金の総額	****万円	⑰通常の始業及び終業の時刻	8時00分から 22時30分まで	
添付書類	⑱1 工場等の敷地の周囲100メートルの見取図 ⑲2 特定施設を設置する者が法人である場合にあっては，その法人の組織図			
※審査結果				
※受付年月日		※整理番号		※備考

- 備考 1 ※印の欄には，記入しないこと。
2 △印の欄については，別紙1から別紙7までのうち，届出に係る特定施設の区分に応じて選択したものによること。
3 用紙の大きさは，図面，表等やむを得ないものを除き，日本産業規格A4判とすること。



【記入例 1-3】
(⑬組織図の例)

●●株式会社 会社組織図



※届出する工場，事業場が組織のどの部署等に属するか明示する

様式第1号 別紙1-1

ばい煙に係る特定施設の概要

① 種類		1 ボイラー					
構	② 型式		〇〇社製 **-***-***				
	③ 着工予定 設置年月日		**年**月**日		年 月 日		年 月 日
	④ 使用開始予定年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日
造	⑤ 燃料又は原料の 種類及び使用量		灯油 (300 /h)				
	伝熱面積, 火格子面積等		5.5m ²				
使用 の方法	⑥ 1日の使用時間		午前8時時～午後7時		時～時		時～時
	⑦ 季節変動		無				
処 理 の 方 法	⑧ 排気型式		自然・押込・誘引		自然・押込・誘引		自然・押込・誘引
	⑨ 処理施設の種類		煙突				
	⑩ 処理施設の型式		—				
	ばい煙の 発生量の 予測される	ばいじん (g/m ³)	処理前	0.03			
			処理後	0.03			
		硫黄酸化物 (ppm)	処理前	0.44			
			処理後	0.44			
		窒素酸化物 (ppm)	処理前	180			
			処理後	180			
		塩化水素 (mg/m ³)	処理前	—			
		処理後	—				
		処理前					
		処理後					
⑫ 排出ガス量		湿り (m ³ /h)	最大: 358 通常: 298	最大	通常	最大	通常
		乾き (m ³ /h)	最大: 324 通常: 270	最大	通常	最大	通常
⑬ 排出ガス温度 (℃)		250					
⑭ 排出速度 (m/s)		最大: 0.97 通常: 0.81					
⑮ 排出口の高さ 及び直径等		実高 12.0m 補正高 12.3m φ 0.5m 角一辺 —m		実高 m 補正高 m φ m 角一辺 m	実高 m 補正高 m φ m 角一辺 m	実高 m 補正高 m φ m 角一辺 m	
⑯ 排出口から敷地境界線 までの水平最短距離 (m)		9.325m (北側)					
添付書類		⑰ 1 特定施設、ばい煙の処理施設及び建築物の配置図 ⑱ 2 特定施設を含む操業の系統及びばい煙の処理の系統の概要の説明書 ⑲ 3 ばい煙の量に関する説明書 ⑳ 4 特定施設及びばい煙の処理施設の構造の概要図					

- 備考 1 ばい煙に係る特定施設のうち廃棄物焼却炉にあっては別紙1-2によることとする。
- 2 特定施設設置（新設）の届出にあっては着工予定年月日を、特定施設使用（既設）の届出にあっては設置年月日を記入すること。
- 3 特定施設使用（既設）の届出にあっては、使用開始予定年月日を記入する必要はない。
- 4 種類の欄には、柏市環境保全条例施行規則別表第1のばい煙に係る特定施設の表に掲げる番号の記号並びに施設名を記入すること。
- 5 排出ガス量及びばい煙量については、温度が零度であって圧力が1気圧の状態（この項において「標準状態」という。）における量に、ばい煙の濃度については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとす。



公道（市道）

(敷地境界線)

(フェンス)

●●株式会社 柏工場

ボイラー（今回設置分）

煙突（H=12.0m 内径0.5m 丸型笠無）

(ボイラー室)

11.800

9.325

11.775

(フェンス)

(敷地境界線)

【scale 1/200】(A4)

準工業地域

(フェンス)
(敷地境界線)

(民地)

(民地)

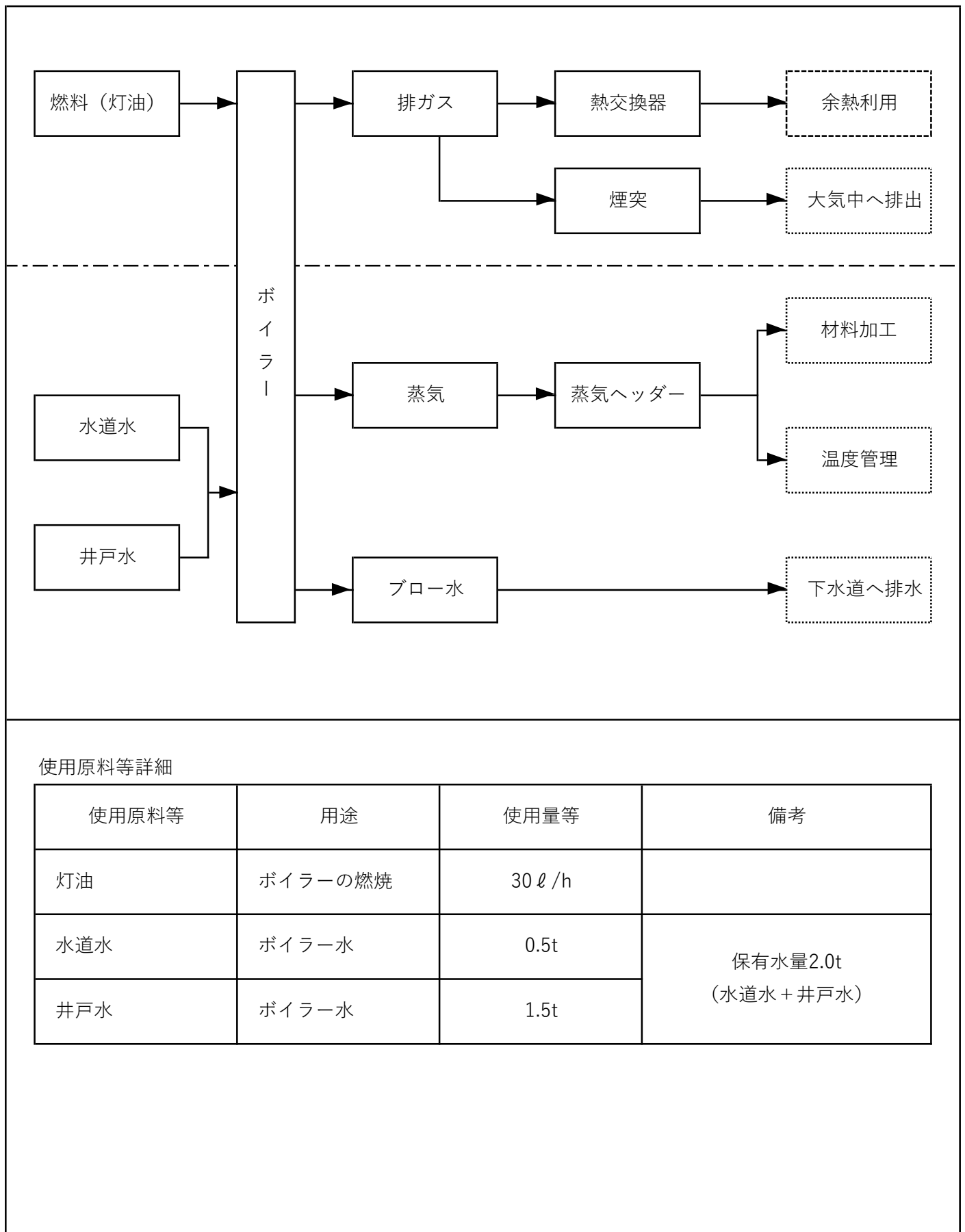
準工業地域

(フェンス)
(敷地境界線)

【1-5】ばい煙に係る特定施設の図面等の例

⑦ 特定施設、ばい煙の処理施設及び建築物の配置図

⑱特定施設を含む操業の系統及びばい煙の処理の系統の概要の説明書



使用原料等詳細

使用原料等	用途	使用量等	備考
灯油	ボイラーの燃焼	30 ℓ / h	
水道水	ボイラー水	0.5t	保有水量2.0t (水道水 + 井戸水)
井戸水	ボイラー水	1.5t	

ばい煙計算書（液体・固体燃料）

○ 事業所名称	●●株式会社 柏工場		
施設名	○○社製 炉筒煙管ボイラー		
伝熱面積	=	5.5	m ²
燃焼能力（重油換算）：	=	30	ℓ/h
燃料の種類	=	灯油	
燃料の種類（固体=0・液体=1）	液体	=	1
バーナー最大容量	Lm	=	30 ℓ
バーナー通常容量	Ln	=	25 ℓ
	(Ln/Lm)	=	0.8
燃料の高位発熱量	Hh	=	11000 Kcal/kg
燃料の硫黄分	S	=	0.0008 %
燃料の比重（液体の場合）	γ	=	0.85
設置場所のK値	K	=	9.0
残存酸素濃度	O ₂	=	4.0 %
排ガス温度	t	=	250 °C
煙突の高さ	H ₀	=	12.0 m
煙突の口径	D (L × N)	=	0.5 m
			m × m
[丸型=0・角型=1]	角型	=	0
[笠 有=0・無=1]	笠有	=	1
燃料中の水分割合	w	=	0
燃料中の水素割合	h	=	0.12

1.排出ガス量

(1) 低位発熱量（真発熱量）

$$Hl = Hh - 600(9h+w) = 10352 \text{ Kcal/kg}$$

(2) 理論空気量及び理論湿りガス量

燃 料/項 目	a	a ₀	b	b ₀	単位
固 体 燃 料	1.01	0.5	0.89	1.65	m ³ /kg
液 体 燃 料	0.85	2.0	1.11	0	m ³ /kg

$$A_0 = a \times \frac{Hl}{1000} + a_0 = 10.80 \text{ m}^3/\text{kg}$$

$$G_{0W} = b \times \frac{Hl}{1000} + b_0 = 11.49 \text{ m}^3/\text{kg}$$

(3) 空気過剰係数

$$m = \frac{21}{21 - O_2} = \frac{21}{21 - 4} = 1.235$$

(4) 単位当たりの湿りガス量

$$G_W = G_{0W} + (m-1) \times A_0 = 14.03 \text{ m}^3/\text{kg} \text{ or } \text{m}^3$$

(5) 単位当たりの乾きガス量

$$G_d = G_W - (11.2h+1.24w) = 12.69 \text{ m}^3/\text{kg} \text{ or } \text{m}^3$$

(6) 湿り排ガス量(最大)

$$Q_{0w} = Lm \times \gamma \times G_w = 357.81 \text{ m}^3/\text{h}$$

(7) 湿り排ガス量(通常)

$$Q'_{0w} = Q_{0w} \times (Ln/Lm) = 298.17 \text{ m}^3/\text{h}$$

(8) 乾き排ガス量(最大)

$$Q_{0d} = Lm \times \gamma \times G_d = 323.54 \text{ m}^3/\text{h}$$

(9) 乾き排ガス量(通常)

$$Q'_{0d} = Q_{0d} \times (Ln/Lm) = 269.61 \text{ m}^3/\text{h}$$

2. 排出速度

(1) 断面積 (形状：丸型)

$$A = D^2 \times \pi / 4 = 0.1963 \text{ m}^2$$

(2) 断面積 (形状：角型)

$$A = L \times N = 0.0000 \text{ m}^2$$

(3) 排出速度 (最大)

$$V = \frac{Q_{0w}}{A} \times \frac{273+t}{273} \times \frac{1}{3600}$$

$$= 0.97 \text{ m/s}$$

(4) 排出速度 (通常)

$$V' = V \times (Ln/Lm) = 0.81 \text{ m/s}$$

3. 煙突補正高さの計算 (笠付きの場合) $H_0 = H_e = \quad \text{m}$

(1) 速度による上昇高さ (最大)

$$Hm = \frac{1.36 \sqrt{Q_{0w} \times V}}{100 + \frac{258}{V}} = 0.069 \text{ m}$$

(2) 係数J (最大)

$$J = \frac{58.4}{\sqrt{Q_{0w} \times V}} \times (1460 - 296 \times \frac{V}{t-15}) + 1$$

$$= 4602.710864$$

(3) 浮力による上昇高さ (最大)

$$Ht = 5.89 \times 10^{-7} \times Q_{0w} \times (t-15) \times (2.30 \log J + \frac{1}{J} - 1)$$

$$= 0.368 \text{ m}$$

(4) 補正煙突高さ (最大)

$$H_e = H_0 + 0.65 \times (Hm + Ht) = 12.28 \text{ m}$$

記入例 1-7 ⑬ばい煙の量に関する説明書

4. 硫黄酸化物の排出量とK値の適合状況

(1) 硫黄酸化物排出量 (最大)

$$q_m = L_m \times \gamma \times S \times 0.007 = 0.00014 \text{ m}^3/\text{h}$$

(2) 硫黄酸化物排出量 (通常)

$$q_n = q_m \times (L_n/L_m) = 0.00012 \text{ m}^3/\text{h}$$

(3) 硫黄酸化物濃度 (最大)

$$q \text{ ppm} = \frac{q_m \times 10^6}{Q_{0d}} = 0.44 \text{ ppm}$$

(4) 硫黄酸化物濃度 (通常)

$$q' \text{ ppm} = q \text{ ppm} = 0.44 \text{ ppm}$$

(5) 硫黄酸化物許容排出量

$$q_L = K \times 10^{-3} \times H e^2 = 1.358 \text{ m}^3/\text{h}$$

硫黄酸化物排出量 (最大) $q_m <$ 硫黄酸化物許容排出量 q_L となって、基準に適合している。

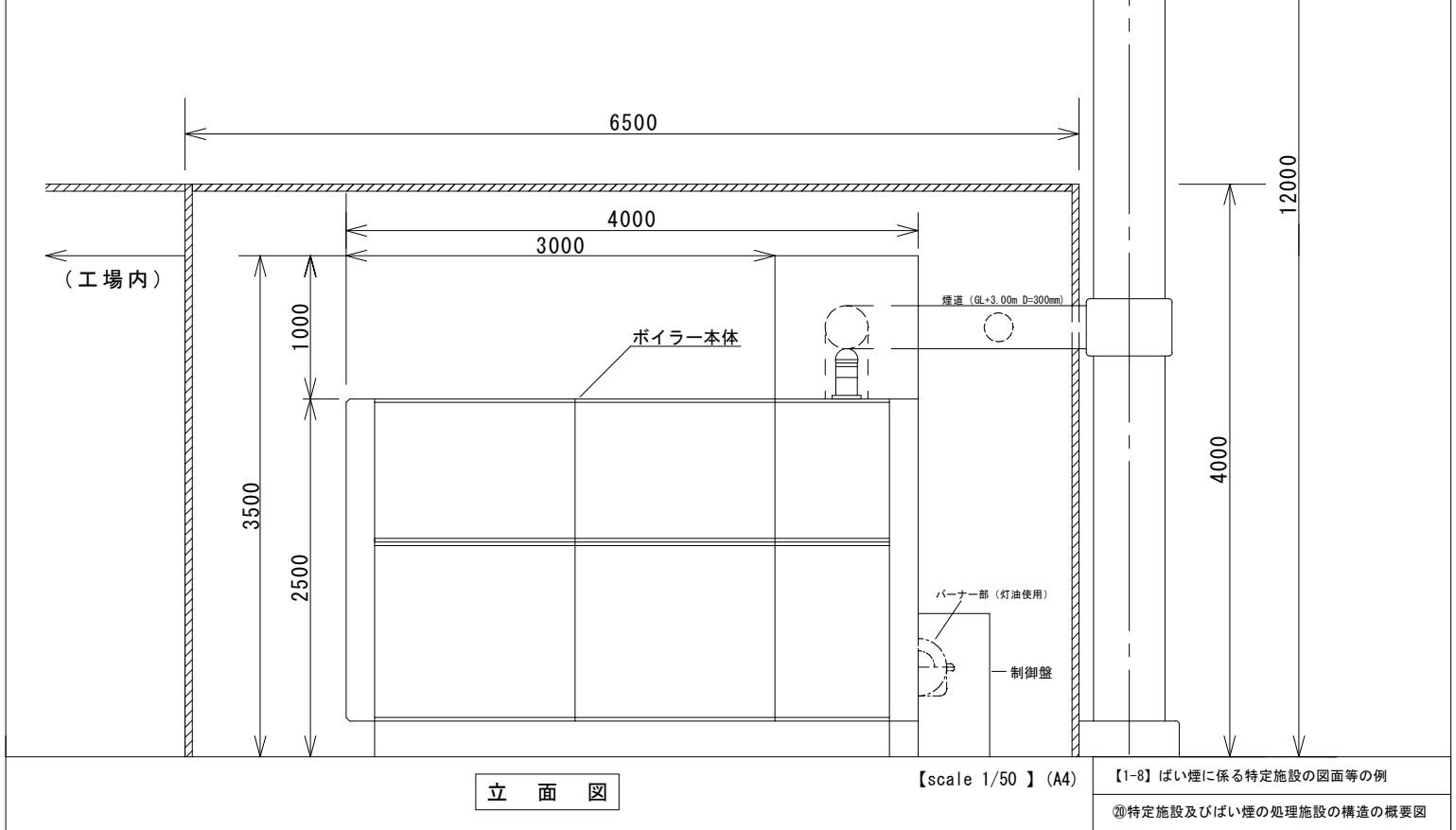
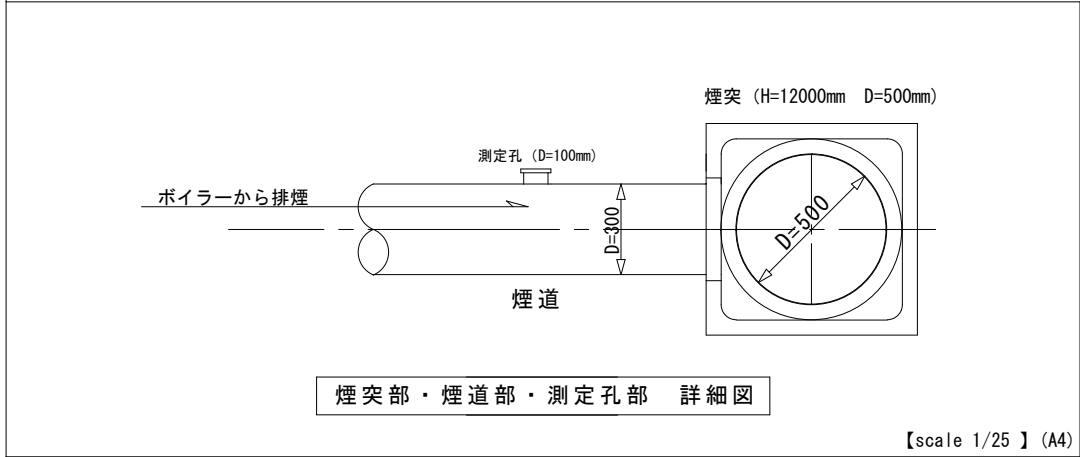
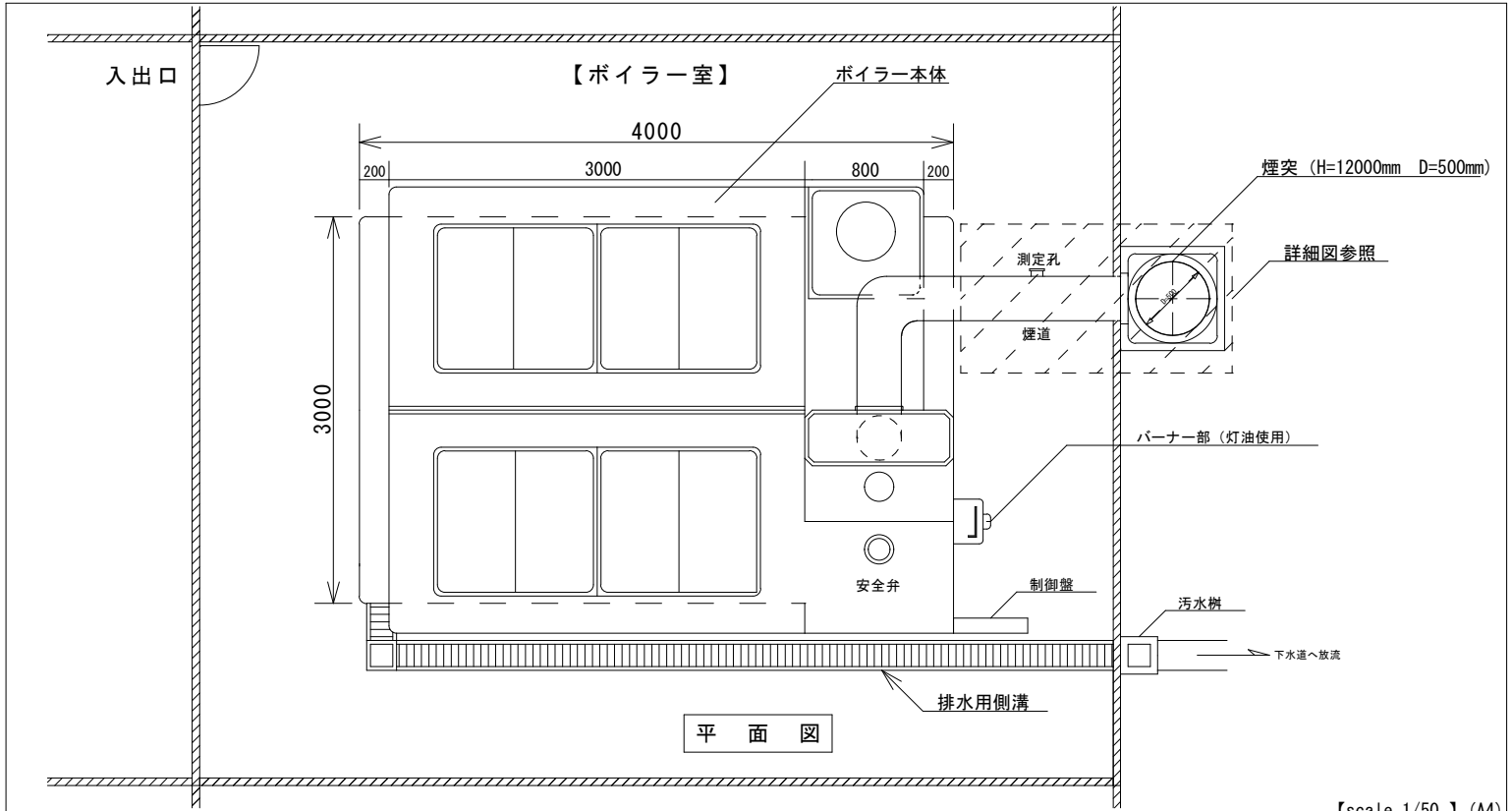
⑭ ばい煙の量に関する説明書（燃料の成分表の例）

灯油（液体燃料）

項 目	単 位	代 表 性 状
外 観		-
密 度（15℃）	g/cm ³	0.78
色（セーボルト）		+30
鋼板腐食（50℃ 3Hr）		1A
蒸留性状（95 %留出温度）	℃	250
引 火 点	℃	45.0
総 発 熱 量	KJ/kg	46200
煙 点	mm	25.0
硫 黄 分	%	0.0008

⑳ ばい煙の発生施設の仕様の例

施 設 の 種 類			ボ イ ラ ー	
名 称			〇〇社製 炉筒煙管ボイラー	
型 式			**-****-****	
伝 熱 面 積		m ²	5.5	
原 材 料			-	
原 材 料 の 使 用 量 （ 日 量 ）		kg	-	
使 用 燃 料			灯 油	
発 熱 量		Kcal/kg	高 位：11000 低 位：10352	
燃 料 使 用 量	最 大	ℓ /h	30	
	通 常	ℓ /h	25	
湿 り 排 ガ ス 量	最 大	m ³	358	
	通 常	m ³	298	
乾 き ガ ス 量	最 大	m ³	324	
	通 常	m ³	270	
排 ガ ス 温 度		℃	250	
排 ガ ス 中 の 酸 素 濃 度		%	4.0	
ば い 煙 の 濃 度	ば い じ ん	最 大	g / m ³	0.03
		通 常	g / m ³	0.03
	窒 素 酸 化 物	最 大	ppm	180
		通 常	ppm	180
	硫 黄 酸 化 物	最 大	ppm	0.44
		通 常	ppm	0.44
ば い 煙 の 排 出 量	硫 黄 酸 化 物	最 大	m ³ /h	0.00014
		通 常	m ³ /h	0.00012
排 出 口（煙 突） の 実 高 さ		m	12.0 （笠 無）	
排 出 口 の 内 径		m	0.5	
補 正 さ れ て た 排 出 口 の 実 高 さ		m	12.3	
排 出 速 度	最 大	m/s	0.97	
	通 常	m/s	0.81	



様式第 2 号 特定施設構造等変更届出書

2-1 様式第2号 特定施設構造等変更届出書 記入項目

項 目		内 容	備 考
①	届出者	届出者の住所（郵便番号・所在地），氏名（名称及び代表者の氏名）を記入すること	
②	届出の取扱者	届出の取扱者の職，氏名及び電話番号を記入すること	
③	変更事項	届出の変更事項に○をつけること 変更事項 1 特定施設の種類及びその種類ごとの数 2 特定施設の構造 3 特定施設の使用の方法 4 公害の防止又は処理の方法 5 その他規則で定める事項	
④	工場等の名称	工場等の名称を記入すること	
⑤	工場等の所在地	工場等の所在地及び郵便番号を記入すること	
⑥	特定施設の種類	ばい煙に係る特定施設の内，ボイラーを設置する場合は別紙1-1を，廃棄物焼却炉を設置する場合は別紙1-2を別葉で作成すること	
⑦	特定施設の概要	ばい煙に係る特定施設の内，ボイラーを設置する場合は別紙1-1を，廃棄物焼却炉を設置する場合は別紙1-2を別葉で作成すること	
⑧	工場等の敷地の周囲100メートルの見取図	都市計画図等を使用し工場等の敷地の周囲100メートルの見取図を作成すること	（添付書類） 様式とは別葉とすること

構造等の変更については、様式を（変更前）と（変更後）の二列書きとして、変更する項目を対比させるように記載する

項 目		内 容	備 考
①	種類	柏市環境保全条例施行規則別表1のばい煙に係る特定施設の表に掲げる番号及び施設名を記入すること	
②	型式	特定施設の製造会社及び型式を記入すること	
③	着工予定・設置 年月日	特定施設設置（新設）の届出にあたっては着工予定年月日を、特定施設使用（既設）の届出にあたっては設置年月日を記入すること。また、特定施設使用（既設）の届出にあたっては、使用開始予定年月日の記入は不要	
④	使用開始予定 年月日		
⑤	規模	特定施設の燃料又は原料の種類及び使用量と伝熱面積若しくは火格子面積等の面積を記入すること	
⑥	使用の方法（1日の使用時間・季節変動の有無）	特定施設の1日の使用時間及び年間の季節変動の有無について記入すること	
⑦	排気型式	排気の装置の型式（自然、押込、誘引）に○をつけること	
⑨	処理施設の種類	処理施設の種類について記入すること	
⑩	処理施設の型式	処理施設の製造会社及び型式を記入すること	
⑪	発生の予測されるばい煙の量	発生の予測されるばい煙（ばいじん、硫酸酸化物、窒素酸化物及び塩化水素等）の量について、処理前と処理後の濃度を記入すること	ばい煙の量(濃度)の例 ボイラー（ばいじん、硫酸酸化物、窒素酸化物） 廃棄物焼却炉（ばいじん、硫酸酸化物、窒素酸化物及び塩化水素、ダイオキシン類等）
⑫	排ガス量(m ³ /h)	特定施設から排出される排ガス量（湿り及び乾き）を記入すること	
⑬	排出ガス温度（℃）	特定施設から排出される排ガスの排ガス温度を記入すること	
⑭	排出速度(m/s)	特定施設から排出される排ガスの排出速度を記入すること	
⑮	排出口の高さ及び直径等(m)	排出口の地上面からの高さと排出口の内径を記入すること	
⑯	排出口から敷地境界線までの水平最短距離（m）	排出口から敷地境界線までの水平最短距離を記入すること	
⑰	特定施設、ばい煙処理施設及び建築物の配置図	・建築図面等を利用して特定施設、ばい煙処理施設を配置した図面を作成すること ・特定施設の設置場所が屋上等複数階ある場合は、その階ごとに配置図と建物の立面図等を作成すること ・配置図には特定施設から他の民地等の敷地境界線までの距離（m）を記入すること	（添付書類） 様式とは別葉とすること

項 目		内 容	備 考
⑮	特定施設を含む操業の系統及びばい煙の処理系統の概要の説明書	・事業所内における特定施設を含む操業の系統及びばい煙の処理系統の概要の説明書を作成すること	(添付書類) 様式とは別葉とすること
⑯	ばい煙の量に関する説明書	・排出口から排出されるばい煙量について、ばい煙の量や濃度、排ガス量等を算出したばい煙の計算書等を作成すること ・ばい煙の量及び濃度に影響する使用原材料や燃料の成分表等を添付すること ・排出口において排出基準のある物質については、排出基準と照らし合わせて排出基準を超過しているか確認すること ・排出基準を超過するようであれば、排出基準を遵守するよう処理施設の設置を検討すること ・計算に使用した計算式等は根拠等を提示すること	(添付書類) 様式とは別葉とすること
⑰	特定施設及びばい煙の処理施設施設の構造の概要図	・特定施設及びばい煙の処理施設施設の構造の概要図を提示すること ・特定施設及びばい煙の処理施設施設は型式や公称能力等の概要が示されているものを提示すること ・概要図に関しては製造メーカーの仕様書等がこれらを満足している場合は概要図に変えて添付しても可	(添付書類) 様式とは別葉とすること

様式第2号（規則第8条，第16条の7，第29条，第50条関係）

特定施設構造等変更届出書

●●年●●月●●日

柏市長

あて

① 届出者 住所（所在地）（郵便番号***-****）

●●県●●市●●町 ●丁目●番●号

氏名（名称及び代表者の氏名）

●●株式会社

代表取締役 ●● ●●

② この届出 職名及び氏名（電話番号***-****-****）
の取扱者

生産管理課 ●● ●●

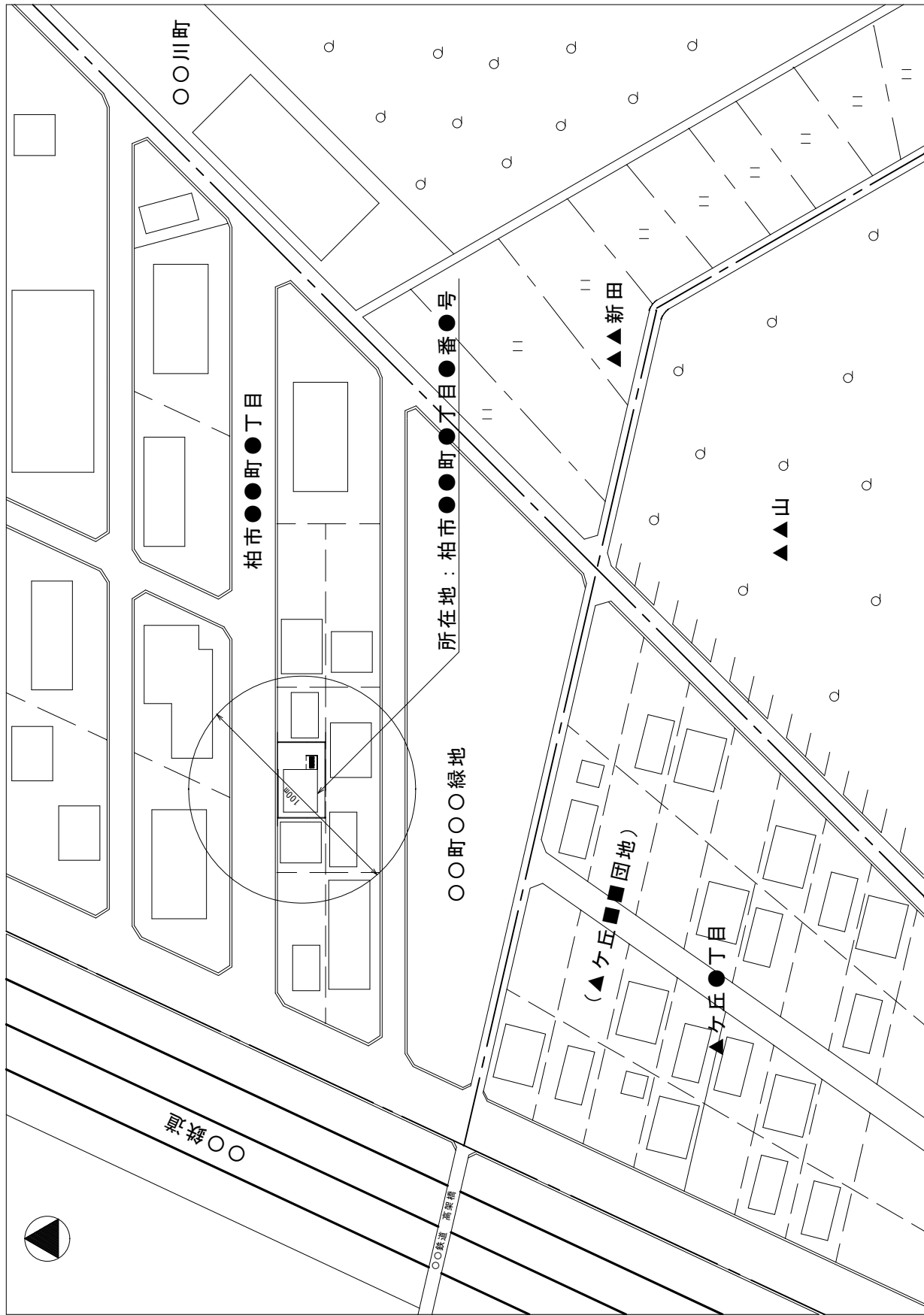
柏市環境保全条例第28条・第36条の6・第49条・第71条の規定により，次のとおり届け出ます。

③ 変更事項 (該当するものを ○で囲むこと)	1 特定施設の種類及びその種類ごとの数 ② 特定施設の構造 3 特定施設の使用の方法 4 公害の防止又は処理の方法 5 その他規則で定める事項	
④ 工場等の名称	●●株式会社 柏工場	
⑤ 工場等の所在地	(郵便番号***-****) 柏市●●町●丁目●番●号	
△特定施設の種類	別紙のとおり	
△特定施設の概要	別紙のとおり	
※審査結果		
※受付年月日	※整理番号	※備考

備考 1 ※印の欄には，記入しないこと。

2 △印の欄については，様式第1号の別紙1から7までのうち届出に係る特定施設の区分に応じて選択したものによることとし，変更のある部分については，変更前及び変更後の内容を対照させて記入すること。

3 用紙の大きさは，図面，表等やむを得ないものを除き，日本産業規格A4判とすること。



様式第1号 別紙1-1

ばい煙に係る特定施設の概要(使用燃料の変更に伴うパーナ部の変更)

① 種類		(変更前) 1 ボイラー		(変更後) 1 ボイラー				
構 造	② 型式		〇〇社製 **-****-****		〇〇社製 **-****-****-**			
	③ 着工予定 設置年月日		**年**月**日		++年++月++日		年 月 日	
	④ 使用開始予定年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
	⑤ 規 模	燃料又は原料の 種類及び使用量	灯油 (300 /h)		都市ガス (48m ³ /h)			
伝熱面積, 火格子面積等		5.5m ²		5.5m ²				
使用 の 方 法	⑥ 1日の使用時間		午前8時時～午後7時		午前8時時～午後7時		時～時	
	⑦ 季節変動		無		無			
処 理 の 方 法	⑧ 排気型式		自然・押込・誘引		自然・押込・誘引		自然・押込・誘引	
	⑨ 処理施設の種類		煙突		煙突			
	⑩ 処理施設の型式		—		—			
	⑪ ばい煙の 発生量の 予測される	ばいじん (g/m ³)	処理前	0.03		0.01		
			処理後	0.03		0.01		
		硫黄酸化物 (ppm)	処理前	44.1		0.00		
			処理後	44.1		0.00		
		窒素酸化物 (ppm)	処理前	180		150		
			処理後	180		150		
		塩化水素 (mg/m ³)	処理前	—				
処理後			—					
⑫ 排出ガス量	湿り(m ³ /h)	最大:358	通常:298	最大:725	通常:605	最大	通常	
	乾き(m ³ /h)	最大:324	通常:270	最大:622	通常:518	最大	通常	
⑬ 排出ガス温度(℃)		250		200				
⑭ 排出速度(m/s)		最大:0.97 通常:0.81		最大:1.78 通常:1.48				
⑮ 排出口の高さ 及び直径等		実高 12.0m 補正高 12.3m φ0.5m 角一辺 —m		実高 12.0m 補正高 12.5m φ0.5m 角一辺 —m		実高 m 補正高 m φ m 角一辺 m		
⑯ 排出口から敷地境界線 までの水平最短距離(m)		9.325m(北側)		9.325m(北側)				
添付書類		⑰ 1 特定施設、ばい煙の処理施設及び建築物の配置図 ⑱ 2 特定施設を含む操業の系統及びばい煙の処理の系統の概要の説明書 ⑲ 3 ばい煙の量に関する説明書 ⑳ 4 特定施設及びばい煙の処理施設の構造の概要図						

- 備考 1 ばい煙に係る特定施設のうち廃棄物焼却炉にあっては別紙1-2によることとする。
- 2 特定施設設置(新設)の届出にあっては着工予定年月日を、特定施設使用(既設)の届出にあっては設置年月日を記入すること。
- 3 特定施設使用(既設)の届出にあっては、使用開始予定年月日を記入する必要はない。
- 4 種類の欄には、柏市環境保全条例施行規則別表第1のばい煙に係る特定施設の表に掲げる番号の記号並びに施設名を記入すること。
- 5 排出ガス量及びばい煙量については、温度が零度であって圧力が1気圧の状態(この項において「標準状態」という。)における量に、ばい煙の濃度については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとする。



公道（市道）

(敷地境界線)

(フェンス)

●●株式会社 柏工場

ボイラー（今回変更分）

煙突（H=12.0m 内径0.5m 丸型笠無）

(ボイラー室)

11.800

9.325

11.775

準工業地域

(民地)

【scale 1/200】(A4)

(敷地境界線)

(フェンス)

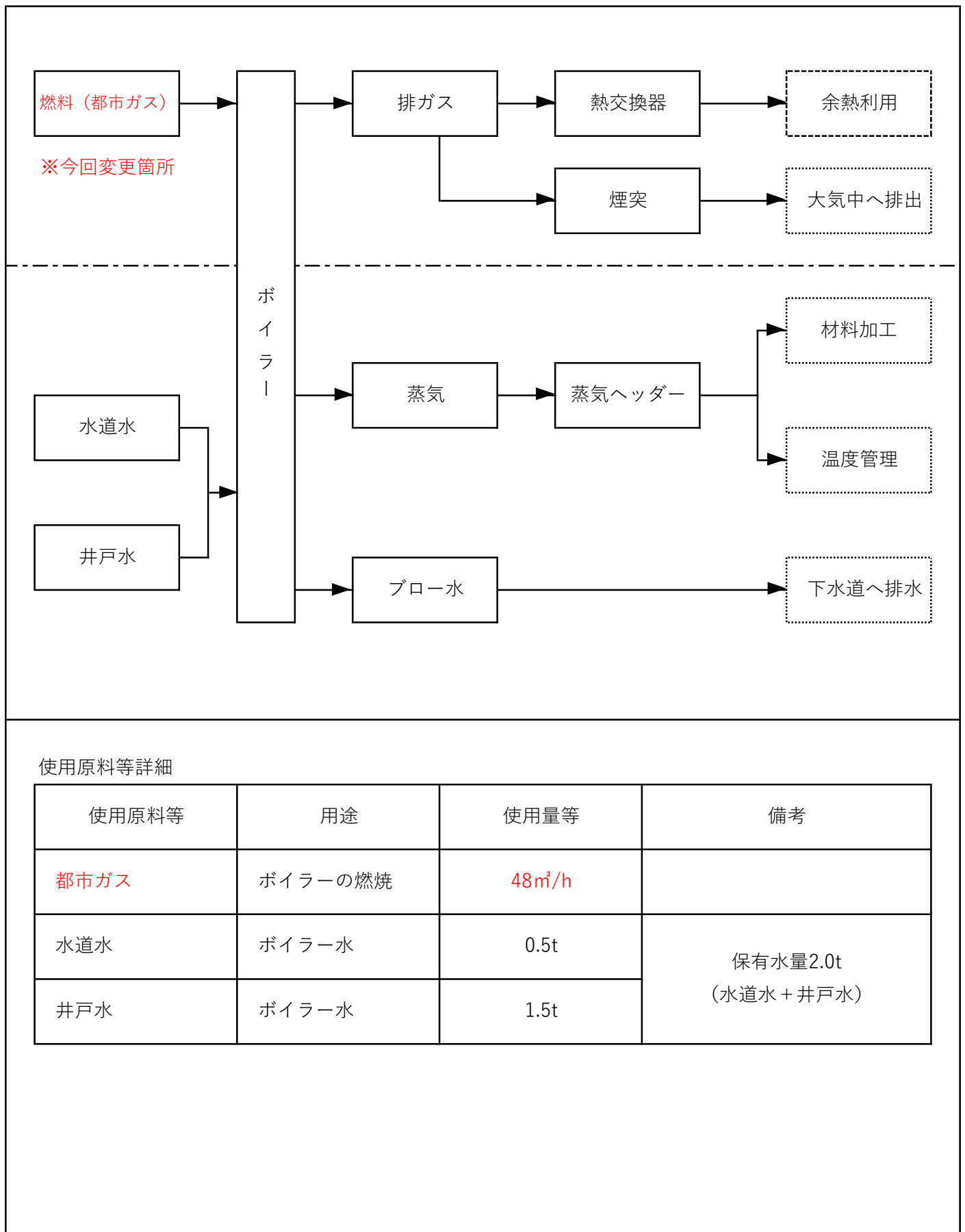
準工業地域

(民地)

【2-4】ばい煙に係る特定施設の図面等の例

⑦ 特定施設、ばい煙の処理施設及び建築物の配置図

⑱特定施設を含む操業の系統及びばい煙の処理の系統の概要の説明書



記入例 2-6 ⑬ばい煙の量に関する説明書

ばい煙計算書（気体燃料）

○ 事業所名称		●●株式会社 柏工場	
施設名		○○社製 炉筒煙管ボイラー	
伝熱面積	=	5.5	m ²
燃焼能力（重油換算）：	=	30	ℓ/h
燃料の種類	=	都市ガス(13A)	
バーナー最大容量	Lm	=	48.0 m ³ /h
バーナー通常容量	Ln	=	40.0 m ³ /h
	(Ln/Lm)	=	0.8
H ₂		CO	
CH ₄	89.73	C ₂ H ₄	
C ₂ H ₆	5.38	C ₃ H ₆	
C ₃ H ₈	3.40	C ₄ H ₈	
C ₄ H ₁₀	1.43	CO ₂	
N ₂		O ₂	
燃料の硫黄分	S	=	0 %
設置場所のK値	K	=	9.0
残存酸素濃度	O ₂	=	5.0 %
排ガス温度	t	=	200 °C
煙突の高さ	H ₀	=	12 m
煙突の口径	D (L × N)	=	0.5 m
[丸型=0・角型=1]	丸型	=	0
[笠 有=0・無=1]	笠無	=	1

1.排出ガス量

(1) 理論空気量

$$A_0 = 2.38 (H_2 + CO) + 9.52CH_4 + 14.29C_2H_4 + 16.67C_2H_6 + 21.43C_3H_6 + 23.81C_3H_8 + 28.57C_4H_8 + 30.95C_4H_{10} - 4.76O_2$$

$$= 10.69 \quad m^3/m^3$$

(2) 理論湿りガス量

$$G_{0W} = 2.38 (H_2 + CO) + 10.52CH_4 + 15.29C_2H_4 + 18.17C_2H_6 + 22.93C_3H_6 + 25.81C_3H_8 + 30.57C_4H_8 + 33.45C_4H_{10} + CO_2 + N_2 - 3.76O_2$$

$$= 11.77 \quad m^3/m^3$$

(3) 理論乾きガス量

$$G_{0d} = 1.88H_2 + 2.88CO + 8.52CH_4 + 13.299C_2H_4 + 15.17C_2H_6 + 19.93C_3H_6 + 21.81C_3H_8 + 26.57C_4H_8 + 28.45C_4H_{10} + CO_2 + N_2 - 3.76O_2$$

$$= 9.61 \quad m^3/m^3$$

(4) 空気過剰係数

$$m = \frac{21}{21 - O_2} = \frac{21}{21 - 5} = 1.313$$

(5) 単位当たりの湿りガス量

$$G_W = G_{0W} + (m-1) \times A_0 = 15.11 \quad m^3/m^3$$

記入例 2-6 ⑬ばい煙の量に関する説明書

(6) 単位当たりの乾きガス量

$$G_d = G_{0d} + (m-1) \times A_0 = 12.95 \quad \text{m}^3/\text{m}^3$$

(7) 湿り排ガス量(最大)

$$Q_{0w} = L_m \times G_w = 725.47 \quad \text{m}^3/\text{h}$$

(8) 湿り排ガス量(通常)

$$Q'_{0w} = Q_{0w} \times (L_n/L_m) = 604.56 \quad \text{m}^3/\text{h}$$

(9) 乾き排ガス量(最大)

$$Q_{0d} = L_m \times G_d = 621.63 \quad \text{m}^3/\text{h}$$

(10) 乾き排ガス量(通常)

$$Q'_{0d} = Q_{0d} \times (L_n/L_m) = 518.02 \quad \text{m}^3/\text{h}$$

2. 排出速度

(1) 断面積 (形状: 丸型)

$$A = D^2 \times \pi / 4 = 0.1963 \quad \text{m}^2$$

(2) (形状: 角型)

$$A = L \times N = 0.0000 \quad \text{m}^2$$

(3) 排出速度 (最大)

$$V = \frac{Q_{0w}}{A} \times \frac{273+t}{273} \times \frac{1}{3600}$$

$$= 1.78 \quad \text{m/s}$$

(4) 排出速度 (通常)

$$V' = V \times (L_n/L_m) = 1.48 \quad \text{m/s}$$

3. 煙突補正高さの計算 (笠付きの場合) $H_0 = H_e = \quad \text{m}$

(1) 速度による上昇高さ (最大)

$$H_m = \frac{1.36 \sqrt{Q_{0w} \times V}}{100 + \frac{258}{V}} = 0.199 \quad \text{m}$$

(2) 係数J (最大)

$$J = \frac{58.4}{\sqrt{Q_{0w} \times V}} \times (1460 - 296 \times \frac{V}{t-15}) + 1$$

$$= 2384.899192$$

(3) 浮力による上昇高さ (最大)

$$H_t = 5.89 \times 10^{-7} \times Q_{0w} \times (t-15) \times (2.30 \log J + \frac{1}{J} - 1)$$

$$= 0.535 \quad \text{m}$$

記入例 2-6 ⑬ばい煙の量に関する説明書

(4) 補正煙突高さ (最大)

$$H_e = H_0 + 0.65 \times (H_m + H_t) = 12.48 \text{ m}$$

4. 硫黄酸化物の排出量とK値の適合状況

(1) 硫黄酸化物排出量 (最大)

$$q_m = L_m \times \gamma \times S \times 0.007 = 0.00 \text{ m}^3/\text{h}$$

(2) 硫黄酸化物排出量 (通常)

$$q_n = q_m \times (L_n/L_m) = 0.00 \text{ m}^3/\text{h}$$

(3) 硫黄酸化物濃度 (最大)

$$q \text{ ppm} = \frac{q_m \times 10^6}{Q_{0d}} = 0.00 \text{ ppm}$$

(4) 硫黄酸化物濃度 (通常)

$$q' \text{ ppm} = q \text{ ppm} = 0.00 \text{ ppm}$$

(5) 硫黄酸化物許容排出量

$$q_L = K \times 10^{-3} \times H_e^2 = 1.401 \text{ m}^3/\text{h}$$

硫黄酸化物排出量 (最大) $q_m <$ 硫黄酸化物許容排出量 q_L となって, 基準に適合している。

⑭ ばい煙の量に関する説明書（燃料の成分表の例）

都市ガス（気体燃料）

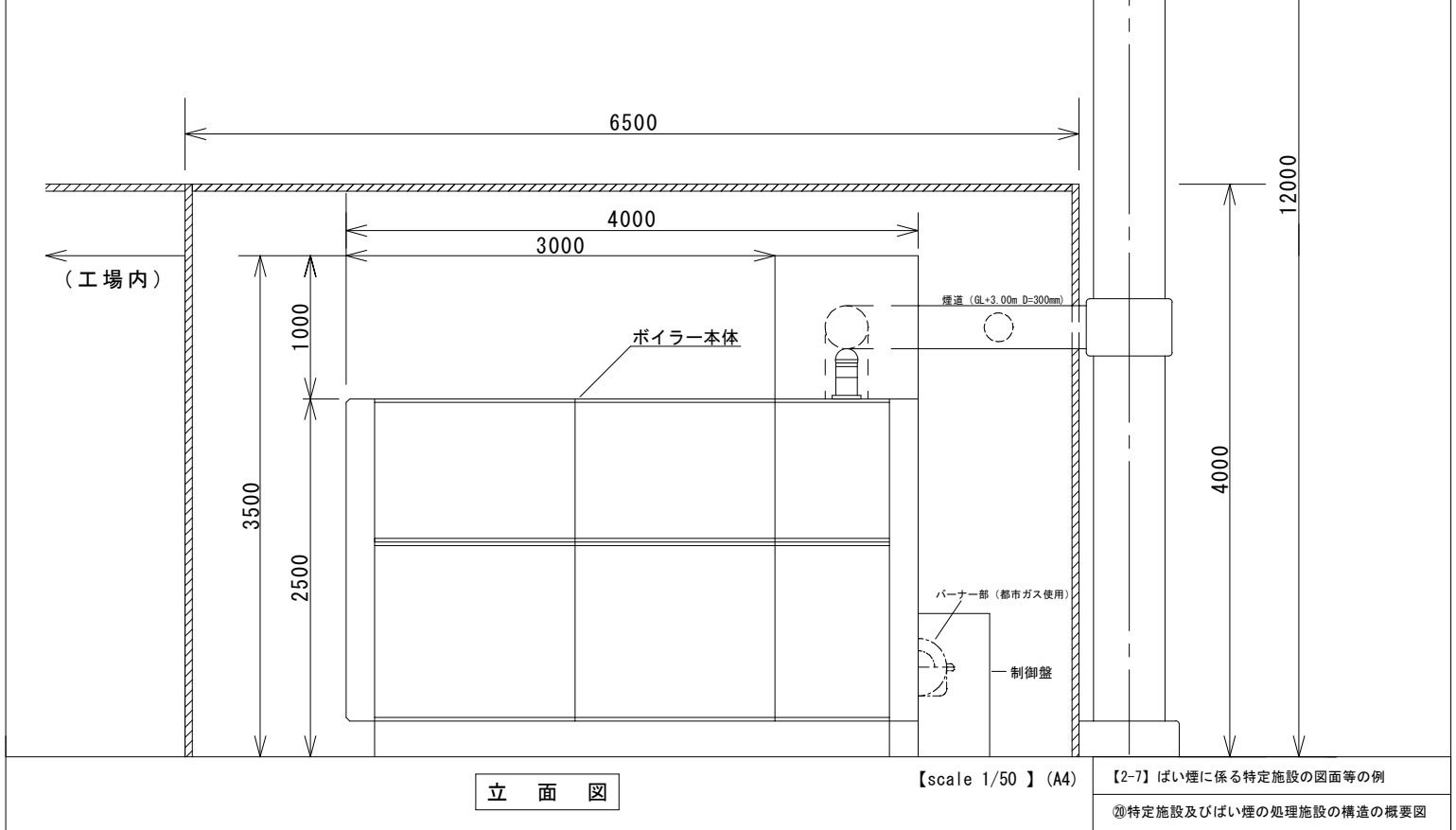
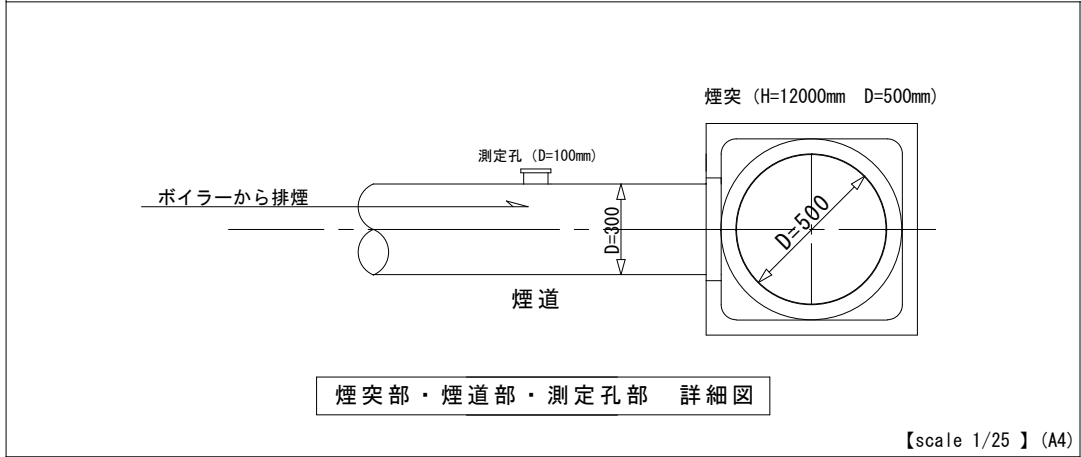
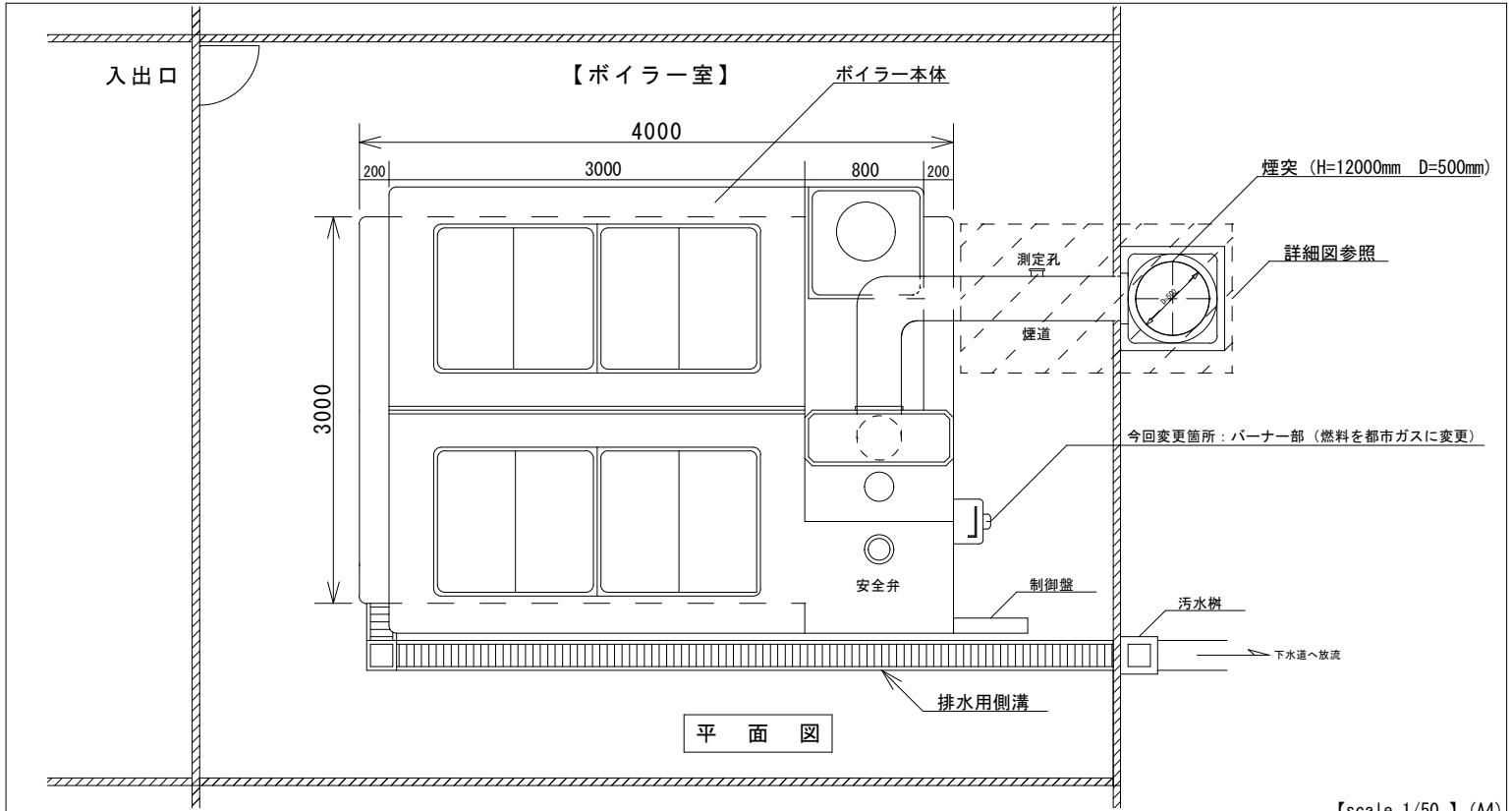
項 目		単 位	代 表 性 状
総 発 熱 量		MJ/m ³	45.0
真 発 熱 量		MJ/m ³	40.0
比 重		-	0.645
組 成 (vol%)	CH ₄	%	89.73
	C ₂ H ₆	%	5.38
	C ₃ H ₈	%	3.40
	C ₄ H ₁₀	%	1.43

②0 ばい煙の発生施設の仕様の例

(使用燃料の変更に伴うバーナー部の変更※)

施 設 の 種 類				ボ イ ラ ー	
名 称				〇〇社製 炉筒煙管ボイラー	
型 式				**-****-****	
伝 熱 面 積			m ²	5.5	
原 材 料				-	
原 材 料 の 使 用 量 （ 日 量 ）			kg	-	
使 用 燃 料				都 市 ガ ス	
発 熱 量			MJ/m ³	総 発 熱 量 ： 45.0 真 発 熱 量 ： 40.0	
燃 料 使 用 量	最 大	m ³ / h	48.0		
	通 常	m ³ / h	40.0		
湿 り 排 ガ ス 量	最 大	m ³	725		
	通 常	m ³	605		
乾 き ガ ス 量	最 大	m ³	622		
	通 常	m ³	518		
排 ガ ス 温 度			℃	200	
排 ガ ス 中 の 酸 素 濃 度			%	5.0	
ば い 煙 の 濃 度	ば い じ ん	最 大	g / m ³	0.01	
		通 常	g / m ³	0.01	
	窒 素 酸 化 物	最 大	ppm	150	
		通 常	ppm	150	
	硫 黄 酸 化 物	最 大	ppm	0.00	
		通 常	ppm	0.00	
ば い 煙 の 排 出 量	硫 黄 酸 化 物	最 大	m ³ / h	0.00	
		通 常	m ³ / h	0.00	
排 出 口（煙 突） の 実 高 さ			m	12.0 （ 笠 無 ）	
排 出 口 の 内 径			m	0.5	
補 正 さ れ て た 排 出 口 の 実 高 さ			m	12.5	
排 出 速 度	最 大	m / s	1.78		
	通 常	m / s	1.48		

※朱書き部分が変更する箇所



様式第 3 号 氏名等変更届出書

様式第 4 号 特定施設等使用廃止届出書

様式第 5 号 承継届出書

3-1 様式第3号 氏名等変更届出書 記入項目

項 目		内 容	備 考
①	届出者	届出者の住所（郵便番号・所在地），氏名（名称及び代表者の氏名）を記入すること	
②	届出の取扱者	届出の取扱者の職，氏名及び電話番号を記入すること	
③	工場等の名称	工場等の名称を記入すること	
④	工場等の所在地	工場等の所在地及び郵便番号を記入すること	
⑤	変更の内容	変更前，変更後の代表者，所在地，名称等を記入すること	
⑥	変更年月日	変更年月日を記入すること	
⑦	変更の理由	変更の理由を記入すること	

4-1 様式第4号 特定施設等使用廃止届出書 記入項目

項 目		内 容	備 考
①	届出者	届出者の住所（郵便番号・所在地），氏名（名称及び代表者の氏名）を記入すること	
②	届出の取扱者	届出の取扱者の職，氏名及び電話番号を記入すること	
③	工場等の名称	工場等の名称を記入すること	
④	工場等の所在地	工場等の所在地及び郵便番号を記入すること	
⑤	届出に係る特定施設等の種類	廃止する特定施設の規制の対象の区分及び施設等の種類及び台数を記入すること	
⑥	廃止年月日	廃止年月日を記入すること	
⑦	廃止の理由	廃止の理由を記入すること	

5-1 様式第 5 号 承継届出書 記入項目

項 目		内 容	備 考
①	届出者	届出者の住所（郵便番号・所在地），氏名（名称及び代表者の氏名）を記入すること	
②	届出の取扱者	届出の取扱者の職，氏名及び電話番号を記入すること	
③	工場等の名称	工場等の名称を記入すること	
④	工場等の所在地	工場等の所在地及び郵便番号を記入すること	
⑤	被承継者	被承継者の氏名及び住所を記入すること	
⑥	承継年月日	承継年月日を記入すること	
⑦	承継の理由	承継の理由を記入すること	

様式第3号（規則第12条，第16条の11，第20条，第33条，第54条関係）

氏 名 等 変 更 届 出 書

●●年●●月●●日

柏市長

あて

① 届出者

住所（所在地）（郵便番号***-****）

●●県●●市●●町 ●丁目●番●号

氏名（名称及び代表者の氏名）

●●株式会社 代表取締役 ■■ ■■

② この届出
の取扱者

職名及び氏名（電話番号***-****-****）

生産管理課 ●● ●●

柏市環境保全条例第31条・第36条の9・第39条・第52条・第74条の規定により，次のとおり届け出ます。

③工場等の名称		●●株式会社 柏工場
④工場等の所在地		(郵便番号***-****) 柏市●●町●丁目●番●号
⑤変更の内容	変更前	●●株式会社 代表取締役 ●● ●●
	変更後	●●株式会社 代表取締役 ■■ ■■
⑥変更年月日		**年**月**日
⑦変更の理由		〇〇のため
※受付年月日		※整理番号
		※備考

備考 1 ※印の欄には，記入しないこと。

2 用紙の大きさは，図面、表等やむを得ないものを除き，日本産業規格A4判とすること。

様式第4号（規則第12条，第16条の11，第20条，第33条，第54条関係）

特定施設等使用廃止届出書

●●年●●月●●日

柏市長

あて

① 届出者 住所（所在地）（郵便番号***-****）

●●県●●市●●町 ●丁目●番●号

氏名（名称及び代表者の氏名）

●●株式会社 代表取締役 ●● ●●

② この届出
の取扱者 職名及び氏名（電話番号***-****-****）

生産管理課 ●● ●●

柏市環境保全条例第31条・第36条の9・第39条・第52条・第74条の規定により，次のとおり届け出ます。

③工場等の名称	●●株式会社 柏工場																
④工場等の所在地	(郵便番号***-****) 柏市●●町●丁目●番●号																
⑤届出に係る特定 施設等の種類	規制の対象の区分	施設等の種類															
	特定施設 <table border="1"> <tr> <td>1-1</td> <td>ばい煙</td> </tr> <tr> <td>1-2</td> <td>焼却炉</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>粉じん</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>水質</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>地質の保全</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>騒音</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>振動</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>悪臭</td> </tr> </table>	1-1	ばい煙	1-2	焼却炉	2	粉じん	3	水質	4	地質の保全	5	騒音	6	振動	7	悪臭
1-1	ばい煙																
1-2	焼却炉																
2	粉じん																
3	水質																
4	地質の保全																
5	騒音																
6	振動																
7	悪臭																
特 定 作 業																	
⑥廃止年月日	**年**月**日																
⑦廃止の理由	〇〇のため																
※受付年月日	※整理番号	※ 備 考															

備考 1 ※印の欄には，記入しないこと。

2 施設等の種類の欄には，柏市環境保全条例施行規則別表第1・2及び別表第4・5並びに別表第11・12に掲げる番号及びア，イ，ウ等の記号並びに施設名を記入すること。

3 用紙の大きさは，図面，表等やむを得ないものを除き，日本産業規格A4判とすること。

様式第5号（規則第13条，16条の12，第21条，第34条，第55条関係）

承 継 届 出 書

●●年●●月●●日

柏市長

あて

① 届出者 住所（所在地）（郵便番号—***—****）

▼▼県▼▼市▼▼町▼▼番地

氏名（名称及び代表者の氏名）

▼▼株式会社 代表取締役社長 ▼▼

② この届出
の取扱者 職名及び氏名（電話番号***-****-****）

生産管理課 ●● ●●

柏市環境保全条例第32条第3項・第36条の10第3項・第40条第3項・第53条第3項・第75条第3項の規定により，次のとおり届け出ます。

③工場等の名称		▼▼株式会社 柏工場
④工場等の所在地		(郵便番号***—****) 柏市●●町●丁目●番●号
⑤被承継者	氏名又は名称	●●株式会社 代表取締役 ●● ●●
	住 所	●●県●●市●●町 ●丁目●番●号
⑥承継年月日		**年**月**日
⑦承継の理由		〇〇のため
※受付年月日		※整理番号
		※ 備考

備考 1 ※印の欄には，記入しないこと。

2 用紙の大きさは，図面，表等やむを得ないものを除き，日本産業規格A4判とすること。

関係資料

柏市環境保全条例施行規則

（ばい煙等に係る特定施設及び規制基準）

○柏市環境保全条例施行規則

別表第1（第3条）

1 ばい煙に係る特定施設

番号	施設の種類
1	ボイラー（熱風ボイラーを含み、熱源として電気又は廃熱のみを利用するものを除く。）であって、伝熱面積が5平方メートル以上のもの
2	廃棄物焼却炉であって、焼却能力が1時間当たり100キログラム以上のもの

備考 次に掲げる施設は除く。

- 1 鉱山保安法（昭和24年法律第70号）第2条第2項に規定する鉱山に設置される施設
- 2 電気事業法（昭和39年法律第170号）第2条第1項第18号に規定する電気工作物
- 3 ガス事業法（昭和29年法律第51号）第2条第13項に規定するガス工作物

2 粉じんに係る特定施設

番号	施設の種類
1	食料品製造の用に供する施設であって、次に掲げるもの 粉砕施設
2	繊維工業（衣服その他の繊維製品に係るものを除く。）の用に供する施設であって、次に掲げるもの 製綿施設
3	木材若しくは木製品の製造又はパルプ、紙若しくは紙加工品の製造の用に供する施設であって、次に掲げるもの ア 粉砕施設 イ 切断施設 ウ 研削施設
4	化学工業の用に供する施設であって、次に掲げるもの 粉砕施設
5	窯業又は土石製品製造の用に供する施設であって、次に掲げるもの ア 粉砕施設 イ 混合施設 ウ 研磨施設 エ 選別施設 オ 粉体用コンベアー施設
6	鉄鋼、非鉄金属、金属製品、機械又は機械器具の製造の用に供する施設であって、次に掲げるもの ア 粉砕施設 イ 研磨施設 ウ 粉体用コンベアー施設
7	その他の製造等の用に供する施設であって、次に掲げるもの 貝殻の粉砕施設

備考 次に掲げる施設は除く。

- 1 鉱山保安法第2条第2項に規定する鉱山に設置される施設
- 2 電気事業法第2条第1項第18号に規定する電気工作物
- 3 ガス事業法第2条第13項に規定するガス工作物

1 ばい煙の規制基準

硫黄酸化物の排出基準

硫黄酸化物の排出基準は、次の式により算出した硫黄酸化物の量とする。

$$q = K \times 10^{-3} \times He^2$$

これらの式においてq, K, Heは、それぞれ次の値を表わすものとする。

q=硫黄酸化物の量（単位 温度摂氏零度、圧力1気圧の状態に換算した立方メートル毎時）

K 大気汚染防止法第3条第2項第1号に規定する排出基準

He 次に規定する方法により補正された排出口の高さ（単位メートル）

$$He = Ho + 0.65 (Hm + Ht)$$

$$Hm = 0.795 \sqrt{(Q \cdot V) / (1 + 2.58/V)}$$

$$Ht = 2.01 \times 10^{-3} \cdot Q \cdot (T - 288) \cdot (2.30 \log J + 1 / J - 1)$$

$$J = (1 / \sqrt{(Q \cdot V)}) \cdot (1460 - 296 \times V / (T - 288)) + 1$$

これらの式においてHe, Ho, Q, V及びTは、それぞれ次の値を表わすものとする。

He 補正された排出口の高さ（単位 メートル）

Ho 排出口の実高さ（単位 メートル）

Q 摂氏15度における排出ガス量（単位 立方メートル毎秒）

V 排出ガスの排出速度（単位 メートル毎秒）

T 排出ガスの温度（単位 絶対温度）

2 粉じんの規制基準

特定施設の構造等の基準

- (1) 粉じんが飛散しにくい構造の建築物内に設置されていること。
- (2) フード及び集じん機が設置されていること。
- (3) 散水設備によって散水が行われていること。
- (4) 防じんカバーでおおわれていること。
- (5) 前各号と同等以上の効果を有する措置が講じられていること。

